

水俣病に対する世界の意識

水俣高校2年生 3名



国内と国外の水俣病に対する意識の違いを知るために水俣病に関するネット上の記事を調べた。

調査結果 2019年10月18日15時現在

国内…2019年10月16日：朝日新聞

熊本) 水俣病患者、坂本フジエさん死去悼む 水俣で葬儀

国内→国外…2018年11月7日：ジャパントイムズ

Citizens' group leader Fumiko Hiyoshi, who worked for sufferers of Minamata disease, dies at 103

国外…2017年9月13日：Mental Floss

How Japan's 'Dancing' Cats Predicted a Deadly Environmental Disaster

わかったこと

国内の記事は年内に更新されているのに対し、海外向けの記事や国外の記事は更新日時が古いことから、国外での水俣病に対する関心が薄まっている傾向がみられることが分かった。

「いのちの発信」について

水俣病は大きな公害であり、どこでも起こりうる極めて重大な問題だが、水俣病に対する世界の関心が薄れつつある。私たちは、このことを水俣病の存在が軽く見られてしまった結果だと考え、水俣病について発信することで、公害の重大さを改めて考えてもらうことが「いのちの発信」につながると考えた。

今後の課題

水俣病に対する世界の関心が薄まっていることから、水俣市や水俣病関係者、そして私たちが二度と水俣病のようなことが起こらないように世界に発信していく必要がある。私たちにできることは、SGH活動を全力で取り組むことである。

参考文献

朝日新聞

(<https://www.asahi.com/articles/ASMBH2VKFMBHTLVB003.html>)

ジャパントイムズ

(<https://www.japantimes.co.jp/news/2018/11/07/national/activist-worked-sufferers-minamata-disease-dies-103/#.Xa1XLY17nIU>)

Mental Floss

(<http://mentalfloss.com/article/504383/how-japans-dancing-cats-predicted-deadly-environmental-disaster>)

